

英語総合演習 休校中の課題④ 5月1日発行

和文英訳

次の日本語を英語に直しなさい。

ノートを1冊用意して、問題の和文を書き、その下に英訳を書きなさい。

翌週に解答例と解説を示すので、赤で訂正をすること。そのノートは学校が始まってからノートを提出してもらいます。

5月1日の分

16) このドライバー、動かないわ。壊れたみたい。

17) アメリカでのホームステイで一番うれしかったことは、ホストファミリーの両親が私を自分の娘のように扱ってくれたことです。

18) 10代の頃、父の仕事の関係でカナダに3年間住んだことがある。

19) インターネットの普及とともに、ここ数年、パソコンの売り上げが急速に伸びている。

20) トムが水泳の名人だと自慢するのをたびたび聞いたことがあるが、実際に泳いでいるところを見たことがない。

4月24日分の解答例と解説

11) 僕の発言が彼女を傷つけるなんて思いもしなかった。

It never occurred to me that my remark might hurt her feelings.

「傷つける」の時制に注意。その発言をした時点で、「自分の発言が彼女を傷つける（だろう／かもしれない）とは思わなかった」という意味である。「傷つける」は現在形だと思った人は間違っています。次の例も参考にすること。

(例) I had to earn money because I was going to the U.S.

「アメリカに行くのでお金を稼ぐ必要があった。」

「アメリカに行く」の部分は未来のことですから、文脈に応じて would か be + (V)ing を使う必要がある。

「～が頭に浮かばなかった」は<I didn't think that S+V>でも十分に通じ

るが、表現の幅を広げるために<It never occurred to me that SV>を覚えておこう。Occur は「生じる」の意味。直訳すると「SV が私（の頭の中）には生じなかった」ということになる。なお occur の過去形は r を重ねて occurred にする。

「僕の発言」については、「ちょっとした発言・言葉」という意味では remark という単語が便利。もちろん what I said としても OK。

「彼女を傷つける」は hurt her feelings とする。Feeling を複数にするのを忘れないように。なお hurt は injure よりも傷の程度が軽い場合に使う。だから「プライドを傷つける」などは injure の方が適しており、injure one's pride とする。さらに、身体的な怪我についても hurt は軽傷の場合に用いる。たとえば「膝を怪我して歩けない」というときは injure を用いて、injure one's knee and can't walk とする方が適している。

1 2) 「トム、ごはんですよ。」 「わかった。すぐ行くよ。」

“Tom, dinner is ready.” “OK, Mom. I’m coming.”

日本語の「行く」と「来る」と、go と come にはズレがある。

Go : 話題の中心から離れていく。

Come : 話題の中心に向かっていく。

(例1) I'll come and fetch you. You must spend the night with us.

「あなたを迎えに行きます。夜は僕たちと一緒に過ごさなくっちゃ。」

この(例1)の文脈では「迎えに行く」という「話題の中心」は「あなた」なので、come を使う。

(例2) "I'm going shopping downtown today. Will you come with me?"

「今日街に買い物に行くけど、君も来る？」

「街へ買い物」が「話題の中心」なので、やはり come を使う。なお、この場合には日本語でも「来る」を使う。

本文では、「食事が用意されているところ」が「話題の中心」なので、come を使う。また夕食ができたなら、食べに行くというのはその場で決めることではなく、いつもそうしていること、つまりあらかじめ決まっていることなので、will come ではなく、be coming を使う。

余談だが、<go + 形容詞>「～になる」の場合は「正常な状態から外れる」という意味で、<come + 形容詞>「～になる」の場合は「正常・プラスの状態になる」という意味で使うのが普通。例えば go bad 「腐る」、go

bankrupt 「倒産する」、come true 「本当になる」など。

日本語の「ごはん」には2種類の意味がある。

① 「一回の食事」のこと

(例) You should eat three meals a day.

「一日に三度のごはんを食べなさい。」

② 「米」のこと

(例) I had rice, fish, and soybean soup for breakfast.

「朝食は、ごはんと魚とみそ汁でした。」

ここでは当然①のこと。ただし具体的な場面なので、a meal では不自然。

Breakfast か lunch か dinner を使うほうがよい。

幼い子は mommy 「お母ちゃん」、daddy 「お父ちゃん」を用い、ある程度

大きくなると mom 「お母さん」、dad 「お父さん」を用いるのが一般的。

また、呼びかけの時には大文字でも構わないが、呼びかけではないとき

には小文字を使う。

1 3) 成田空港に着いたら電話します。

I'll call you when I get to Narita Airport.

「～たら」は、以下の3種類が考えられる。

- ① 確実に起こりうること →when S + 動詞の現在形
- ② 不確実なこと →if S + 動詞の現在形
- ③ 可能性が非常に低いこと →if S + 動詞の過去形

例えば、「家に帰ったら、風呂に入ろう。」という場合、①になる。②にすると「今日は徹夜で会社で仕事をするかもしれない」という可能性を感じる。③にすると風呂に入ることは絶望的。きっと無人島で涙ながらに叫んでいるというような状況になる。

ここでの「空港に着いたら」は①が妥当。

また①の場合でも②の場合でも、will を用いず、現在時制にすること。(動作動詞の場合は現在完了形にすることもある。) 日本語「着いた」は過去形だが、それに引きずられて過去形にしないこと。

「～に到着する」は日常的な英語では<get to + 場所>で十分。Arrive at

～や reach ～は、もう少し堅い表現である。

「電話する」は call ～が一般的。Call は名詞としても使える。

(例 1) There was a call [× a telephone] for you.

「あなたに電話がありました。」

(例 2) Could you give me a wake-up call [× a morning call] at 7:00?

「7時にモーニングコールをお願いします。」

「成田空港」に冠詞は必要か。空港名や駅名には the をつけないことを覚えておくとよい。もちろん固有名詞でなければ the station、the airport などと the をつけるのは構わない。

1 4) ここから東京ディズニーランドまで電車で行くなら、3回も乗り換えが必要になります。

If you take the train to Tokyo Disneyland from here, you have to change three times.

「～なら」は when か if か。「車で行くなら便利だけど」と示唆している感じがする文なので、不確実な仮定と考えて、If S V とするのが適切。

「乗り換える」は<change trains>を用いる。乗り換えの時には、今まで乗ってきた電車と次に乗り換える電車の両方が必要だから、複数形にする。もし change a train とすると、「電車を改造する」という意味になってしまいます。ここでは文脈上、trains を省き、change だけでも十分。

このように複数形を用いるもので大切な表現は次の通り。

- ① shake hands (with ~) 「(～と) 握手する」
- ② make friends with ~ 「～と友達になる」
- ③ be close friends with ~ 「～と親友である」
- ④ exchange gifts 「プレゼントを交換する」
- ⑤ exchange business cards 「名刺交換をする」

(例) At the end of the game, players traditionally exchange shirts with each other.

「試合終了時に選手同士でシャツの交換をするのが伝統だ」

「3回」は three times という。回数を表すときには前置詞はいらない。

(例) Take three of these tablets three times a day.

「この錠剤を3錠ずつ1日に3回飲みなさい」

「～まで電車で行く」は <take the train to ~> を用いる。Take ~ は「(交通機関) ~ を利用する」の意味。Get on ~ とは区別すること。これは「乗る」という動作そのものを表す。なお、go to ~ by train でも通じる。Take the train と the を用いると「電車(というもの)を利用する」という意味だが、もし take a train と言うと「目的地まで1本の電車で行く」という意味になる。

- ① take a taxi to ~ 「タクシーに乗って～へ行く」
- ② take a plane to ~ 「飛行機に乗って～へ行く」
- ③ take the Shinkansen to ~ 「新幹線に乗って～へ行く」
- ④ take the subway to ~ 「地下鉄に乗って～へ行く」

Shinkansen と subway に the が必要なのは、これらの単語が個別の車両を意味するのではなく、「新幹線網」と「地下鉄網」といったシステム全体を意味するからである。

15) 大学を卒業したら海外で仕事を探すことに決めている。

I've decided to look for a job abroad when I graduate from college.

「決めている」の時制はどうなるか。Decide は、動作動詞の現在形なので、このままの形で使うと、「習慣的行為」になる。しかし、過去形で用いるためには何らかの過去形を示す副詞（句・節）が必要となる。次の例では In 2002 が副詞句である。

(例) In 2002, I decided to marry Nancy.

「2002年にナンシーと結婚すると決めた。」

結局、ここでは現在完了形でしか表現できないとわかるはず。<have decided to (V)> 「~することに決めた」という「完了」は、「~することに決めている」と訳すこともできるということを覚えておくこと。

「(まだ) ~していない」という場合にも現在完了形を用いる。

(例) Ann has not come yet.

「アンがまだ来ていないね。」

「大学を卒業したら」はどう訳すか。「したら」の部分は when が妥当。少なくとも日本なら、大学にいったん入れば、ほとんどの人は卒業をするから、if でなくて when が適切。「大学を卒業する」は graduate from college。From を忘れるという初歩的なミスをしないように。College の冠詞は、go to school などと同様に省略する。

「海外で仕事を探す」は look for a job abroad とする。なお、「社会に出る」なら go out into the world / start to work / get a job などと表現できる。